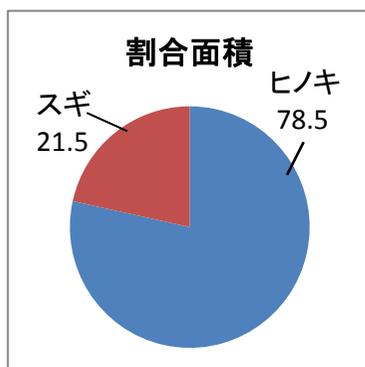
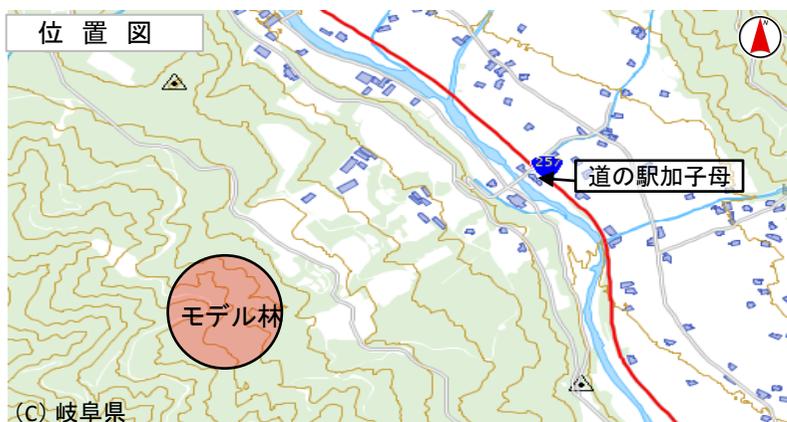


環境保全モデル林「中津川市加子母福崎の森」概要書

- 1 設置者名 中津川市
 2 所在地 中津川市加子母字福崎3885-25他（道の駅加子母の西）
 3 面積 9.42 ha
 4 土地所有者 中津川市

5 森林の状況

樹種	ヒノキ	スギ		計
面積(ha)	7.39	2.03		9.42
比率(%)	78.5	21.5		



モデル林の状況

- ・国道257号の「道の駅加子母」から車で5分程度に位置した箇所にある。
- ・区域はすべて普通林となっている。
- ・植生はヒノキの針葉樹が中心で、一部にスギや広葉樹がある。
- ・ヒノキ、スギの針葉樹林は管理されているが、広葉樹林は未整備である。

モデル林設置者が希望する活用イメージ

- 【環境教育型】 子どもへの森林環境教育(加子母地域林業史の学びの場) 上下流両住民の協力した森づくり
- 【観光活用型】 昔の山仕事(炭焼き・薪作り、木馬等による木材運搬等)や里山の暮らし(郷土食)の体験など

その他参考事項

- ・当区域に隣接する市有林は、「名古屋市民の森」として整備している。
- ・平成22～23年度に森林管理路を開設、平成24年度に利用間伐を実施。
- ・今後は、環境教育利用を中心に考えており、保健文化機能のゾーニング設定を予定している。
- ・林業グループ等による森林教室、間伐体験等が行われている。
- ・加子母地域は、林業グループ等のプレーヤーになり得る団体が多い。

現地調査結果

- ・当地域は、「里山」という言葉の発祥の地とされており、モデル林としてのPR効果が高い。(※木曾山雑話[1759])
- ・プレーヤーとなり得る林業グループ等は、森林整備や伝統技術伝承指導として、市と連携しながら継続的に活動している。
- 昔の山仕事を体験できる歴史的利用、現代スタイルに合わせた利用など、当地域ならではの里山活動の発展性が見込まれる。

「中津川市加子母福崎地区」平面図

① 林内状況(針)



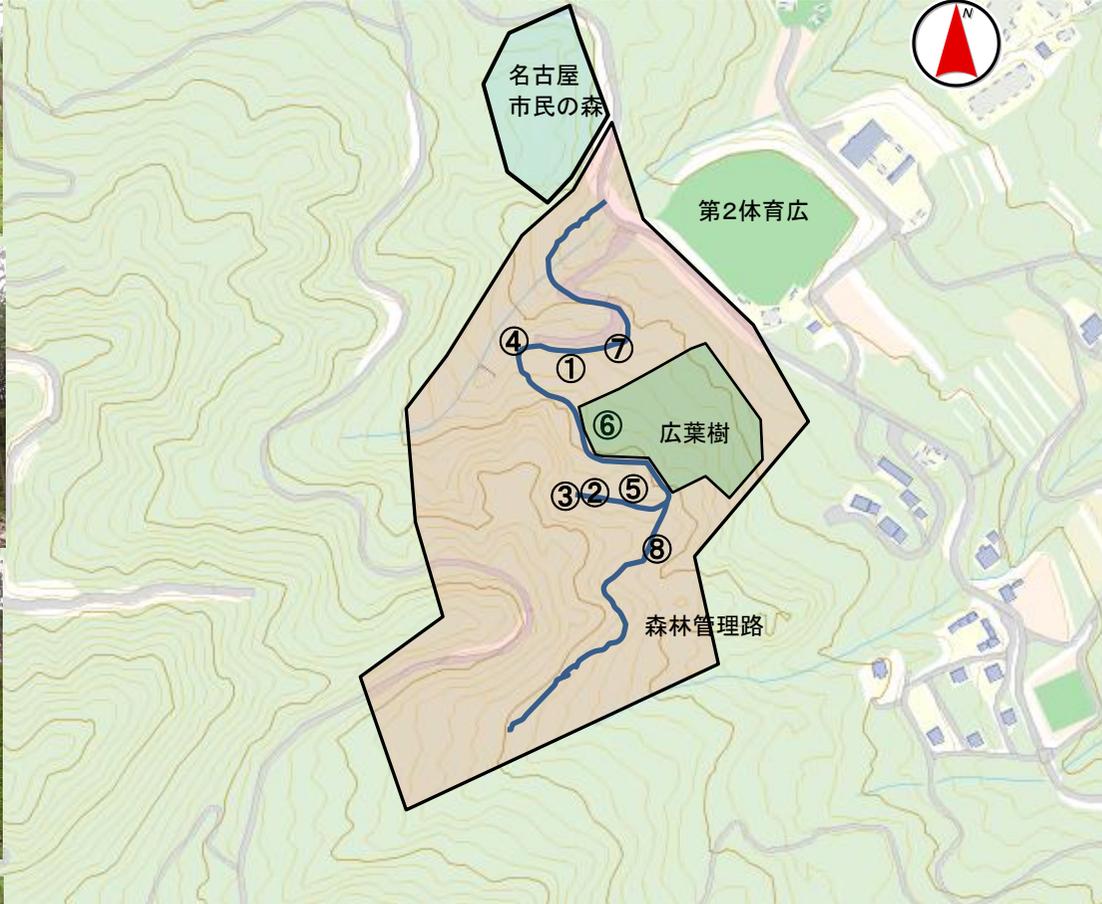
② 林内状況(針)



③ 林内状況(針)



④ 林内状況(針)



⑤ 林内状況(広)



⑥ 林内状況(広)



⑦ 森林管理路



⑧ 森林管理路



※ 候補地区域－赤色